

## 平成20年度 第3回松江市入札監視委員会

### 議 事 概 要

開催日及び場所	平成20年10月9日(木) 松江市役所 本館3階 入札室	
委 員	委員長 朝田 良作(島根大学法科大学院教授) 委 員 有田 友子(島根地方労働審議会委員) 大野 敏之(弁護士) 後藤 勇(公認会計士)	
審議対象期間	平成20年5月1日～平成20年7月31日	
報告事項	入札方式別発注工事の状況について ・対象期間中の入札状況について、事務局から報告した。 指名停止等の運用状況について ・対象期間中の指名停止等の状況について、事務局から報告した。 「松江市建設工事に係る特別共同企業体取扱要綱」の改正について ・改正の趣旨と内容について、事務局から報告した。 落札率等の状況について ・最近数年間の落札率の推移等について、事務局から報告した。	
審議事項	抽出案件数	4件
	一般 1. 雑賀公民館機械設備工事 2. 市道学校田和線道路改良工事 指名 3. 松江市防災行政無線(デジタル移動系)整備工事(第2期) 4. 市道佐倉田根線舗装改良工事 随意契約案件なし	(備考) 抽出の考え方(抽出担当委員) ・入札方式別に、落札率の高かった案件を抽出した。 ・特定の発注課に偏らないよう配慮した。
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

参考までに、各抽出事案の「抽出事案説明書」を添付します。

## 抽出事案説明書

入札方式	一般競争入札		
工事名	雑賀公民館機械設備工事		
工期	平成20年7月9日～平成21年2月28日		
工事種別	機械設備工事		
工事概要	<p>雑賀公民館の建替え新築に伴う機械設備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雑賀公民館建物の概要：鉄筋コンクリート造 地上2階建 延床面積760㎡</li> </ul> <p>(施工内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給排水設備工事...給排水設備、給湯設備、トイレ</li> <li>・消火設備工事...消火器設置</li> <li>・空調設備工事...冷暖房設備(ガスヒートポンプエアコン)</li> <li>・ガス設備工事...調理室(都市ガス)</li> </ul>		
入札参加資格	<p>平成19・20年度松江市建設工事競争入札参加資格審査申請時の、総合評定値通知書における管工事の総合評定値(P)が611点以上であること 建設業法に規定する主たる営業所(本店、本社等)を松江市内に有すること (市内業者)</p> <p>施工実績：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去10年間の1契約で500万円以上の建築物に付随する給排水衛生設備工事又は空気調和設備工事の施工実績</li> </ul> <p>配置予定技術者：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申請者との直接的・恒常的な雇用関係(3ヵ月以上)</li> <li>・1級管工事施工管理技士又はこれと同等以上の資格を有する者、若しくは2級管工事施工管理技士の資格を有する者</li> </ul>		
入札参加資格設定の理由及び経緯	<p>設定理由：「事後審査型制限付一般競争入札取扱方針」による。 「管工事」の工種別細目を基に、入札参加資格を設定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点数...1級又は2級管工事施工管理技士を常時3名以上雇用する、市内管工事業者の点数を基準として設定した。 松江市建設工事入札参加者等選定の運用基準に準じたもの。</li> <li>・施工実績...公共工事における管工事の件数は少ないことから、競争性を高めるため、民間工事の実績も認める。</li> </ul> <p>経緯：平成20年6月4日、一般競争入札資格審査委員会において審議の結果決定した。</p>		
入札参加資格確認申請業者数	12社		
入札参加業者数	12社(辞退なし)	無資格業者数	なし
予定価格(税込)	29,889,300円		
入札希望価格(税込)	27,405,000円		
契約金額(税込)	29,473,500円(落札率：98.61%)		
無資格理由の説明	該当なし		
入札の経緯及び結果	<p>平成20年7月1日 開札 最低価格者：石田電気水道(有)</p> <p>平成20年7月3日 資格審査の結果、石田電気水道(有)に落札決定。</p>		

## 抽出事案説明書

入札方式	一般競争入札		
工事名	市道学校田和線道路改良工事		
工期	平成20年7月29日～平成20年11月20日		
工事種別	一般土木工事		
工事概要	施工延長 L = 103m ・ 排水工 L = 134m ・ 防護柵工 L = 61m ・ 区画線工 L = 201m ・ 舗装工 A = 719㎡		
入札参加資格	平成19・20年度松江市建設工事競争入札参加資格者名簿に記載された土木一式工事の総合点数が661点以上920点以下であること (松江市の格付B又はCに相当) 建設業法に規定する主たる営業所(本店、本社等)を松江市内に有すること (市内業者) 施工実績: ・ 過去10年間の公共工事において、1契約で500万円以上の土木一式工事の施工実績 配置予定技術者: ・ 申請者との直接的・恒常的な雇用関係 ・ 監理技術者又は主任技術者としての資格を有する者		
入札参加資格設定の理由及び経緯	設定理由:「事後審査型制限付一般競争入札取扱方針」による。 経緯:平成20年6月23日、一般競争入札資格審査委員会において審議の結果決定した。		
入札参加資格確認申請業者数	9社		
入札参加業者数	4社(辞退5社)	無資格業者数	なし
予定価格(税込)	18,006,450円		
入札希望価格(税込)	16,485,000円		
契約金額(税込)	17,745,000円(落札率:98.55%)		
無資格理由の説明	該当なし		
入札の経緯及び結果	平成20年7月17日 開札 最低価格者:(有)松雲土木 平成20年7月18日 資格審査の結果、(有)松雲土木に落札決定。		

## 抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札
工事名	松江市防災行政無線（デジタル移動系）整備工事（第2期）
工期	平成20年10月4日（市議会の議決により決定）～平成23年3月15日
工事種別	通信設備工事
工事概要	<p>災害対策活動時の通信体制確保のための防災行政無線システムの整備</p> <p>平成17年度から平成22年度の6ヵ年をかけ、松江市全域をカバーする防災行政無線システムを整備する。</p> <p>本工事では、平成18年度の第1期工事において整備を終えた鹿島町を除く市内全域を対象とし、平成22年度までの3ヵ年にわたって下記の整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統制局整備...統制局改造</li> <li>・中継局整備...新設3局、改造1局</li> <li>・移動局整備...新設380局</li> <li>・アプローチ回線整備...新設（忌部中継局～三坂中継局、弘法山中継局～多古鼻中継局） 改造（島根県庁～忌部中継局）</li> </ul>
工事のランク	電気通信工事（ランクなし）
指名業者数	10社
指名業者を選定した考え方	<p>本工事の設計金額は1億5,000万円以上であり、「松江市建設工事に係る特別共同企業体取扱要綱」及び「松江市建設工事事後審査型制限付一般競争入札執行要領」の対象となる工事であるが、特殊工事で施工業者が限定されることから、下記の要件を全て満たす全10社の単独参加による指名競争入札とした。</p> <p>市内業者、又は松江市内の営業所に1名以上の技術職員を含む2名以上の職員が在籍すること。</p> <p>過去15年間に、元請で4,000万円以上の防災行政無線工事の施工実績を有すること。</p> <p>第1級陸上特殊無線技士に相当する無線従事者資格を有する技術者が在籍すること。</p>
入札参加業者数	2社（8社辞退）
予定価格（税込）	718,626,300円
入札希望価格（税込）	669,900,000円
契約金額（税込）	716,625,000円（落札率：99.72%）
入札の経緯及び結果	平成20年7月25日 開札 和幸(株)に落札決定。

## 抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札
工事名	市道佐倉田根線舗装改良工事
工期	平成20年6月27日～平成20年8月29日
工事種別	アスファルト舗装工事
工事概要	<p>工事延長 L = 200m</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 路上再生路盤工 t = 15cm、A = 1,240m<sup>2</sup></li> <li>・ 表層工 再生As(13) t = 5cm、A = 1,240m<sup>2</sup></li> <li>・ 溶融式区画線 W = 15cm、L = 400m</li> <li>・ 高視認性区画線 リブ式 W = 15cm、L = 200m</li> </ul>
工事のランク	舗装工事(ランクなし)
指名業者数	12社
指名業者を選定した考え方	<p>松江市建設工事入札参加者等選定要領及び同運用基準に基づき、舗装工事の登録のある市内業者のうち、下記の要件を全て満たす全12社を選定した。</p> <p style="text-align: center;">アスファルトフィニッシャーを保有すること(継続的なリース契約を含む)、オペレーターが恒常的に在籍していること。</p>
入札参加業者数	11社(1社辞退)
予定価格(税込)	5,875,800円
入札希望価格(税込)	5,386,500円
契約金額(税込)	5,827,500円(落札率:99.18%)
入札の経緯及び結果	平成20年6月25日 開札 日進建設(有)に落札決定。

質 問	回 答
<b>【報告事項について】</b>	
1. 入札方式別発注工事の状況について	
<p>国や島根県の工事では、最低制限価格ぎりぎりのところに入札が集中し、くじで落札決定している状況があるということだが、松江市の落札率が高いのはなぜか。</p> <p>高落札率対策として、島根県と同様に予定価格を事前公表するなど、制度の見直し等の考えはないか。</p>	<p>島根県内でも地域によって状況が異なっており、くじで落札者が決定するような状況があるのは主に西部地域で、東部地域での落札率は松江市と同様に高いと聞いている。</p> <p>落札率については二極分化が進んできており、高落札率の工事が増えている一方で、低価格入札も発生している状況である。かつて島根県と同様に予定価格の事前公表を行っており、その頃の落札率は非常に高かったが、事後公表とすることで落札率は下がった。しかし、再び落札率が上昇傾向にあったため、今年度から「入札希望価格制度」を導入している。</p>
2. 指名停止等の運用状況について（談合情報については、該当案件なし。）	
特に意見なし。	
3. 「松江市建設工事に係る特別共同企業体取扱要綱」の改正について	
<p>共同企業体に発注する工事の金額を1億5千万円から1億円に引き下げたということであるが、逆に1億5千万円から1億円の間の工事は、入札に参加する企業が少なくなるということか。</p>	<p>電気や機械といった設備関係の工事では、土木・建築工事に比較して工事の発注総額が少なく、大規模工事を単独で受注することによる影響が大きい。今回の改正は、特別共同企業体の適用となる工事の範囲を拡大することで、受注機会の拡大を図るもので、入札に参加する企業の数自体は変わらないと考えている。</p>
4. 落札率等の状況について	
<p>価格帯ごとの落札率を見ていくと、一部の価格帯で極端に高い落札率が見られるのはなぜか。</p>	<p>極端に落札率が高い価格帯は、発注件数の少ない価格帯である。発注件数の多い価格帯では、全体を平均するとある程度落札率が平準化されるが、件数の少ない価格帯では、たまたま落札率が高かったという結果がそのまま現れたということである。何か高落札率となるような要因があったというわけではない。</p>
<b>【審議事項について】</b>	
1. 一般競争入札【雑賀公民館機械設備工事】	
<p>本件のような工事は、機器や材料といった定額的な部分の比率が高い工事か。そのことが、落札率に影響しているか。</p>	<p>「機械設備工事」とは、給排水設備・空調設備等の工事であり、機器代金の比率が非常に高く、入札額に大きく影響する。当市としては、機器によっては事前にメーカーから見積を徴取したりしているが、できるだけ実勢価格に近い設計額となるよう、見積額に対する査定率について、国の率を採用するなどの工夫をしている。そのことは落札率にも影響していると考えられる。</p>

2. 一般競争入札【市道学校田和線道路改良工事】	
<p>入札辞退者が多いが、どのような要因によるものか。</p> <p>入札参加者数はどの時点でカウントするのか。</p> <p>入札結果を見ていると、ある金額を中心に比較的等間隔で入札金額が並んでいるようだが、おおよその設計金額は容易に分かるものか。</p>	<p>本工事は、比較的小規模な事業者を対象とした工事である。一般競争入札では、入札公告から入札までに約1ヵ月の期間があり、特に7・8月は発注件数も多いことから、参加申請後に他の工事を受注するなどして、予定していた技術者が配置できなくなったことも要因ではないかと考えている。</p> <p>一般競争入札であれば、入札参加申請の締切時点で参加者名簿を作成する。辞退者がある場合には、その後、実際の入札までの約1週間の間に辞退届が提出される。</p> <p>積算ソフトが市販されており、単価や歩掛も公表が進んでいることから、本工事のような土木工事の積算は比較的容易である。また、今年度から事前公表している、入札希望価格が一つの目安となり得る。</p>
3. 指名競争入札【松江市防災行政無線（デジタル移動系）整備工事（第2期）】	
<p>10社を指名して入札を行った結果、実際に入札したのが2社であり、落札者が1期工事と同一の事業者だったということだが、随意契約として価格交渉を行うという方法は選択できなかったか。</p>	<p>設計時に行った調査において、1期工事と異なるメーカーの機器を使用しても技術的に問題はないことを確認し、事前の見積依頼に対して他社からも見積書が提出されたことから、より競争性を高めるために、要件を満たす事業者全てを対象とした指名競争入札を行った。しかし、実際に入札を行うに当たって、辞退者が多かったという結果については、保守管理や制御などソフト面での問題が1期工事の部分に影響した場合に、瑕疵責任などのトラブルが発生するのを嫌ったのではないかと考えている。</p>
4. 指名競争入札【市道佐倉田根線舗装改良工事】	
<p>指名業者の選定要件として、「アスファルトフィニッシャーを保有していること」は必要か。</p>	<p>舗装工事は、専門的な工事であるため、路面状況や転圧の状況により、耐久性等に違いが現れる。工事の品質確保を図るという点から、専門のノウハウを有する事業者を選定するために、専用の機械を保有しているという要件は必要であると考えている。</p>
<p>(その他)</p> <p>1. 次回の会議日程は、平成21年1月最終週での開催予定とし、調整する。</p> <p>2. 抽出対象期間は平成20年8月1日から平成20年11月30日とし、抽出委員は松江市入札監視委員会運営要領の規定により、金子委員とされた。</p>	